

WhatsUp Gold 2025.0 リリースノート

WhatsUp Gold のバージョン 25.0 に実装された機能と拡張機能を記載します。このリリースに組み込まれた機能の選択と検証にはお客様からのご意見が役立っています。ご協力をどうもありがとうございました。WhatsUp Gold を継続的に改善するために、引き続きお客様からのご意見をお待ちしております。

イントロダクション

フィードバックをお待ちしております

[WhatsUp Gold Community](#) の [WhatsUp Gold Customer Validation Program \(CVP\)](#) に参加して、当社の[アイデアエーションポータル](#)に製品に関するアイデアをお寄せください。

追加リソース

- サポートされるバージョン、パッチ適用/アップグレード、機能の廃止については、『[製品互換性ガイド](#)』を参照してください
- テクニカルサポートでどこまでカバーされるかについては、「[サポートの範囲](#)」を参照してください
- セキュリティの管理方法については、「[セキュリティガイドライン](#)」を参照してください
- WhatsUp Gold のシステム要件は、「システム要件」の項を参照してください

WhatsUp Gold 2025.0 の新機能

WhatsUp Gold の最新バージョンでは次の機能が実装、または改善されました。

- [証明書を検出と監視](#)
- [ログ管理のカスタム取り込みフィルター](#)

証明書の検出と監視

WhatsUp Gold 25.0 から、新規インストールおよびアップグレードには「SSL 証明書」という新しいサブロールが含まれています。このモニタに関連付けられたルールは、ポート 443 が開いているかどうかを確認します。ポート 443 が開いている場合、他の検出条件がすべて満たされていれば、SSL 証明書モニタが適用されます。

新しいルールに一致するデバイスが監視対象ネットワークに追加されると、モニタライブラリに新しい「SSL 証明書モニタテンプレート」が作成されます。

また、SSL 証明書モニタが適用されると、ポート 80 または 443 が開いているか、またはデバイス上で特定の IIS プロセスが実行されている場合に、「Web サーバー」サブロールも適用されます。(このサブロールのスキャンルールの詳細については、WhatsUp Gold のロールおよびサブロールライブラリを参照してください。)

いったん適用されると、SSL 証明書モニタは 11 時間ごとにチェックされ、デバイス上の証明書がすでに失効しているか、30 日以上失効する場合は「停止中」として報告されます。SSL 証明書モニタは、検出された後、モニタライブラリにも表示されます。

なお、デフォルトのモニタ設定に変更が加えられた場合、元のテンプレートが保持されつつ、ライブラリに 2 つ目の SSL 証明書モニタが作成されます。

ログ管理のカスタム取り込みフィルター

ログ管理でカスタム取り込みフィルターを設定できるようになりました。すべてのソースからすべてのログを収集して後からフィルタリングするのではなく、ログフィルターライブラリでカスタムフィルターを作成し、それをソースに適用することで、WhatsUp Gold は必要なログデータのみを収集できるようになります。取り込みフィルターを作成する際は、[フィルタービルダーの詳細] ダイアログで「取り込みフィルタを設定」コントロールを有効にする必要があります。詳細については、WhatsUp Gold ログ管理ユーザードキュメントの「[フィルターの作成](#)」および「[ログソースの設定](#)」を参照してください。

更新および改善

v25.0 での更新および改善

機能エリア	項目	説明
ログ管理	WUG-11509	ログフィルタライブラリで取り込みフィルターを変更した後に、ログデータを表示できない問題を修正。
レポート	WUG-14269	WhatsUp Gold バージョン 22 以降で、InterfaceUtilization レポートを表示できない問題を修正。
アクション	WUG-14820	「稼働中」通知に対して暗黙的なアクションが 2 回実行される問題を修正。
レポート	WUG-14829	監視対象デバイスに Putty がインストールされている場合でも、インストール済みソフトウェアレポートに表示されない問題を修正。
モニタ	WUG-14879	アクティブモニタステータスレポートで、Ping が「稼働中」と「停止中」の両方で 100% と表示される問題を修正。
アクション	WUG-14887	バージョン 23.0.1 へのアップグレード後にアクションがトリガーされない、またはタイムアウトする問題を修正。
レポート	WUG-15322	スケジュールされたレポートを保存しようとする際にエラーが発生する問題を修正。
ユーザー権限	WUG-15618	「SNMP MIB の管理」権限が有効になっているカスタム管理者グループのメンバーであるユーザーアカウントが、MIB を表示または追加できない問題を修正。
アクション	WUG-15702	「稼働中」アクションが断続的に、または頻繁に実行されない問題を修正。
ポーラー	WUG-15713	80 台以上のデバイスをメンテナンスモードから解除すると、スケーラビリティポーラーがクラッシュする問題を修正。
ログ	WUG-16368	スケジュールされたレポートのエクスポートで、誤解を招くエラーが発生し、ログが記録されない問題を修正。
ユーザーインターフェース	WUG-16775	単一のダッシュボードビュー上のすべてのダッシュボードレポートが、ピン留めされたフィルターを正しく反映しない問題、およびフィルターを削除した際に個々のダッシュボードレポートにピンアイコンが表示される問題を修正。
ログ	WUG-16813	Web ユーザーアクティビティログにデバイス ID ではなくデバイス名が表示される問題を修正。
セキュリティ	WUG-16852	CVE-2024-7562 CVE-2023-29081 CVE-2023-29080
設定	WUG-16877	「ログイン状態を維持」機能は廃止されました。

ライセンス	WUG-16917	ライセンスマネージャーを使用してサブスクリプションライセンスを正常に無効化できない問題を修正。
ユーザーインターフェース	WUG-17102	ダークモードでデバイスマップ上のインターフェースを表示している際に、フォントの色が原因でテキストが読みにくい問題を修正。
検出	WUG-17127	検出中に「デバイスのリセット」オプションによってデータが削除される問題を修正。
モニタ	WUG-1716	PowerShell のアクティブモニタでメモリ不足エラーが発生する問題を修正。
モニタ	WUG-17231	モニターライブラリの「このモニタを使用しているデバイス」列に正確なデバイス数が表示されない問題を修正。
モニタ	WUG-17246	カスタムロールを使用してデバイスにインターフェースのパフォーマンスモニタを追加できない問題を修正。
API	WUG-17249	WUG API - PUT /api/v1/devices/{deviceID}/monitors/{assignmentID} がアクティブモニタで機能しない。
ドキュメント	WUG-17342	WhatsUp Gold Web インターフェースからヘルプにアクセスしようとすると、「エラーコード: 404 ページが見つかりません」というエラーが表示される問題を修正。
レポート	WUG-17520	グラフにメンテナンス時間とダウンタイムが表示されているにもかかわらず、アクティブモニタの可用性レポートに 100% の可用性が表示される問題を修正。
NTA+	WUG-17531	Total Plus ライセンスを使用しているときに、NTA+ ダッシュボードメニュー項目が表示されない問題を修正。
サービス	WUG-17540	NetworkViewerDataService が CPU を 40%、メモリを 3 GB 使用し、常にマージ処理が行われていると NetworkViewerDataService のログに記録される問題を修正。
データベース	WUG-17573	データベーススキーマ検証中に内部エラーが発生する問題を修正。
ポーラー	WUG-17620	80 台以上のデバイスをメンテナンスモードから解除すると、スケーラビリティポーラーがクラッシュする問題を修正。
デバイスプロパティ	WUG-17635	[デバイスプロパティ] で CPU とメモリの詳細が表示されない問題を修正。
モニタ	WUG-17637	Cisco CBS350-48P-4G スイッチに CPU およびメモリパフォーマンスモニタを追加できない問題を修正。
ログ	WUG-17650	次のメッセージが過度に表示される問題を修正しました: 「ネットワーク上のクライアントが大量のデータを送信しています。ワイヤレスエンジンがクライアントのトラフィックを正確にキャプチャできるように、ワイヤレスポーリング間隔を短くすることをお勧めします。」
インストール	WUG-17671	修復時に言語パックがインストールされない問題を修正。
NTA	WUG-17738	タイムスタンプを含む NTA レポートを HTML にエクスポートした際、対象の期間に当日が含まれている場合に、日付が「1899 年 12 月 30 日」と表示される問題を修正。
インストール	WUG-17748	次のメッセージが表示された場合、サイレントインストールを続行できない問題を修正しました: 「注意: デフォルトでは証明書エラーは無視されます。」
ユーザーインターフェース	WUG-17751	エクスポートされたレポートのグラフサイズが固定されているため、ブラウザで表示しにくい問題を修正。
ユーザーインターフェース	WUG-17763	IP グループ名が中国語（繁体字）をサポートしない問題を修正。
セキュリティ	WUG-17775	セキュリティスキャナーにより、ポート 9644 で HSTS (HTTP Strict Transport Security) が設定されていないことが検出されました。
アップグレード	WUG-17789	アップグレード後のログアウト時にイベントビューアに警告が表示される問題を修正。
検出	WUG-17971	検出時に Cisco デバイスのコミュニティ文字列が正しく表示されない問題を修正。
アクション	WUG-17991	「繰り返しアクション」が有効になっている場合、特定のアクションポリシーのアクションが実行されない問題を修正。
アクション	WUG-17992	繰り返しアクションが正常に実行されない問題を修正。
ポーリング	WUG-18023	Cisco FPR 3120 の CPU 使用率ポーリングに関する問題を修正。

アクション	WUG-18034	アクションポリシーによってトリガーされた通知がブラックアウト期間中に実行される問題を修正。
アクション	WUG-18036	繰り返しアクションが正常に実行されない問題を修正。
アクション	WUG-18062	メールアクションが失敗し、アクションログに「ブラックアウト期間のためスキップされました」というメッセージが表示される問題を修正。
検出	WUG-18114	Vertiv GXT5 UPS が Liebert GXT2 として表示される問題を修正。
スクリプト	WUG-919	Plink プロセスがタイムアウトし、CPU を解放/消費しない問題を修正。

既知の問題

機能エリア	項目	説明	回避策	適用されるリリースバージョン	修正されたバージョン
アクション	WUG-18123	繰り返しステップで重複したアクションがトリガーされる。	なし	25.0	N/A
スケジュール	WUG-18251	スケジュールに関連する機能が、v24.0.3 では期待どおりに動作しない。	なし	WhatsUp Gold 24.0.3	WhatsUp Gold 25.0
検出	WUG-18258	v24.0.3 へのアップグレード後、Windows 認証情報のみを使用している場合、検出でオペレーティングシステムが検出されない。	なし	WhatsUp Gold 25.0	N/A

理解すべき事項

重要: MySQL データベースを監視するには、MySQL .NET Connector をダウンロードして WhatsUp Gold マシンにインストールしてください。互換性の問題が発生する可能性があるため、WhatsUp Gold の最新バージョンは MySQL .NET Connector バージョン 8.0.21 のみをサポートしていることに注意してください。アプリケーション監視機能や SQL Query アクティビティまたはパフォーマンスモニタを使用している場合は、コネクタをダウンロードしてバージョン 5.2.5 から 8.0.21 にアップグレードする必要があります。MySQL.NET Connector は、<https://downloads.mysql.com/archives/c-net/> からダウンロードできます。

重要: WhatsUp Gold をアップグレードする前にエージェントを展開して使用していた場合は、利用可能な修正や更新された機能を適用するためにエージェントを再展開する必要があります。エージェントを再展開し、WhatsUp Gold のアップグレードを完全に完了させるには、WhatsUp Gold エージェントを展開する権限を持つ管理者アカウントを使用して WhatsUp Gold にログインしていることを確認します。次に、メインメニューから [設定] > [WhatsUp Gold エージェント] > [エージェントのライブラリ] に移動します。ライブラリに表示されている既存のエージェントをすべて選択し、[エージェントの展開] をクリックします。このプロセスでは、5 つのエージェントを一括で更新します。大量のエージェントを展開している場合、このプロセスが完了するまでに数分かかる場合があります。

次の WhatsUp Gold ドキュメントも参照してください。

[ライフサイクル情報](#)

[ライフサイクルポリシーガイド](#)

[製品互換性ガイド](#)

[アイディエーションポータル](#)

[サポートの範囲](#)

[セキュリティガイドライン](#)

システム要件

ハードウェア要件のガイドライン

ハードウェア要件は WhatsUp Gold の設定に応じて異なります。監視対象デバイス数、モニタ数、モニタのタイプ、ポーリング間隔やその他の構成オプションが増えると、サーバーとデータベースにかかる負荷がさらに増大する可能性があります。環境のパフォーマンスを最適化するには、ハードウェア構成を調整する必要がある場合があります。

重要: ログ管理機能を正常に利用するには、以下の表の右端の列に記載されている「20,000 台のデバイス／100,000 件のメトリック」に対応する最小ハードウェア要件を満たしている必要があります。

サーバーの最小推奨事項

	100 台のデバイス / 500 のメトリック* 最小要件	2,500 台のデバイス / 12,500 のメトリック* 最小要件	20,000 台のデバイス / 100,000 のメトリック* 最小要件
プロセッサ	クアッドコア	クアッドコア	クアッドコア
プロセッサ速度	2.6 GHz 以上	2.6 GHz 以上	2.6 GHz 以上

RAM	8 GB	16 GB	WhatsUp Gold サーバー:16 GB 専用 SQL Server: 32 GB (64 GB 推奨)
データベースの種類	SQL Server 2022 Express Edition	専用 SQL Server 2017/2019/2022	専用 SQL Server 2017/2019/2022
ハードドライブ	25 GB 以上の空き領域	OS/アプリケーション - 15 GB 以上の空き領域がある RAID 1 データベースファイル - 4 x 100 GB の RAID 10	OS/アプリケーション - 15 GB 以上の空き領域がある RAID 1 データベースファイル - 8 x 250 GB の RAID 10 ログファイル - 2 x 100 GB の RAID 0 一時データベースファイル - 2 x 250 GB の RAID 0 SQL Server のデータベースファイルとログファイルの移動の 詳細については、 How to migrate the WhatsUp Gold database を参照してください。
ネットワークインタフ ェースカード	最小 100 Mbps (1 Gbps 推奨)	100 Mbps (1 Gbps 推奨)	1 Gbps
サウンドカード	テキスト音声変換アクションには SAPI 対応サウンド カードが必要	テキスト音声変換アクションには SAPI 対応サウンドカードが必要	テキスト音声変換アクションには SAPI 対応サウンドカード が必要

*データベースに格納された各データポイントはメトリックとしてカウントされ、WhatsUp Gold はモニタごとに複数のメトリックを収集する場合があります。

WhatsUp Gold にアクセスするための推奨事項

リモートマシンにインストールされているブラウザを使用して、WhatsUp Gold サーバーにアクセスすることをお勧めします。

WhatsUp Gold サーバーにアクセスする場合は、最適なパフォーマンスを得るために、次の仕様に従ってください。

	100 台のデバイス / 500 のメトリック 最小要件	2,500 台のデバイス / 12,500 のメトリック 最小要件	20,000 台のデバイス / 100,000 のメトリック 最小要件
RAM	8 GB	8 GB	16 GB
プロセッサ	クアッドコア	クアッドコア	クアッドコア
ビデオ表示解像度	1920 x 1080 以上	1920 x 1080 以上	1920 x 1080 以上
サウンドカード	テキスト音声変換アクションには SAPI 対応サウンドカードが必要	テキスト音声変換アクションには SAPI 対応サウンドカードが必要	テキスト音声変換アクションには SAPI 対応サウンドカードが必要

製品には、ログインユーザー数に対するハードコードされた上限はありません。最大同時接続ユーザー数は、IIS の制限およびシステムの利用可能なリソースに依存します。

オペレーティングシステム要件

WhatsUp Gold は次の Windows Server プラットフォームをサポートしています。

- Microsoft Windows Server 2025
- Microsoft Windows Server 2022
- Microsoft Windows Server 2019

以下の点にご注意ください。

- ドメインコントローラへの WhatsUp Gold のインストールは推奨されず、サポート対象外です。
- WhatsUp Gold が仮想環境でホストされている場合は、ライセンスの問題を防ぐために、WhatsUp Gold が動作している仮想マシンに静的 MAC アドレスを必ず割り当ててください。仮想マシンへの静的 MAC アドレスの割り当てについては、仮想マシンソフトウェアのヘルプドキュメントを参照してください。
- WhatsUp Gold にはクアッドコアプロセッサ (最小 2.6 GHz) が必要です。仮想マシンに WhatsUp Gold をインストールする場合は、ゲスト VM に最低 4 つの CPU コアが割り当てられていることを確認してください。さらに「[ハードウェア要件のガイドライン](#)」を参照してください。

データベースの要件

重要: WhatsUp Gold へのアップグレードにより、WhatsUp Gold に付属されている SQL Server Express データベースは、SQL Server 2022 Express に更新されます。

重要: WhatsUp Gold のデフォルトインストールでデフォルトとしてインストールされるデータベースではなく、リモート SQL データベースを使用している場合、その他の WhatsUp Gold のデータベース設定については、『[WhatsUp Gold データベース移行管理ガイド](#)』を参照してください。

注: WhatsUp Gold データベースをホストするために使用される Microsoft SQL Server の照合順序は、SQL_Latin1_General_CP1_CI_AS に設定する必要があります。Latin1_General_CI_AS 照合順序もアップグレード時に使用できますが、実行中にエラーが発生する可能性があるため、推奨されていません。また、前述の各 WhatsUp Gold データベースの照合順序も SQL_Latin1_General_CP1_CI_AS に設定する必要があります。Latin1_General_CI_AS 照合順序もアップグレード時に使用できますが、実行中にエラーが発生する可能性があるため、推奨されていません。

WhatsUp Gold では、監視対象デバイスに関するデータの維持、システム設定の保存、およびユーザー設定のカスタマイズの保存を行うデータベースが必要です。データベースは WhatsUp Gold インストールと同じ場所に配置することも、リモートマシンでホストすることもできます。WhatsUp Gold のデータサービスは、次のデータベースサーバーで提供できます。次のデータベースバージョンがサポートされています。

- Microsoft SQL Server 2017
- Microsoft SQL Server 2019
- Microsoft SQL Server 2022

Web サーバーの要件

IIS がサポートされているプラットフォームでは、WhatsUp Gold のインストーラによってこれらが自動的にインストールされ、有効になります。WhatsUp Gold には、IIS の次の Web サーバー役割サービスが最低限必要です。

- Web サーバー
- ASP .NET
- 静的コンテンツ
- HTTP リダイレクト
- 既定のドキュメント

フレームワーク要件

WhatsUp Gold には、スクリプト作成をサポートするために Microsoft .NET Framework およびその他の Microsoft パッケージが必要です。必要なソフトウェアフレームワークおよびサポートパッケージは次のとおりです。

- .NET 4.8 (インストールプログラムに含まれています)。
- PowerShell 2.0 (PowerShell スクリプトを作成する場合に必要。WhatsUp Gold インストーラには含まれていません。PowerShell のインストールの詳細については、Microsoft MSDN の Web サイトをご覧ください)。
- Microsoft Windows Scripting Host v5.7 以降。
- Microsoft SAPI 5.1 (テキスト音声変換アクションに必要です)。

重要: Microsoft .NET Framework オプションが必要です。ただし、Microsoft .NET Framework オプションでは次の機能/コンポーネントのオプションを有効にすることはできません。 [.NET Framework Windows Communication Foundation HTTP アクティブ化] および [Windows Communication Foundation 非 HTTP アクティブ化]。

Web インターフェースの要件

WhatsUp Gold では現在、次の Web ブラウザを使用できます。

- Microsoft Edge
- Google Chrome
- Mozilla Firefox

ヒント: WhatsUp Gold は、いずれの Internet Explorer バージョンも互換性または互換モードでサポートしていません。

ログ管理の要件

WhatsUp Gold ログ管理機能は、監視対象デバイスからログデータを収集し、そのデータをレポートおよび分析用に Elasticsearch データベースに保存してレポート作成や分析に使用します。WhatsUp Gold のログ管理機能を利用するには、[Elasticsearch をインストールして設定](#)する必要があります。[バージョン 8](#) または [バージョン 7](#) のようなサポートされている Elasticsearch のメジャーバージョンを使用してください。

重要: リソース使用量の観点から、Elasticsearch は WhatsUp Gold と同じサーバーにインストールしないでください。サポートされている Elasticsearch のバージョンについては、[WhatsUp Gold 製品互換性ガイド](#)のセクション 2.4 を参照してください。

WhatsUp Gold サーバーでは、Elasticsearch インスタンスをサポートするために以下を必要とします。

- CPU 速度: 2.6 GHz 以上
- CPU 数: 8 コア以上
- RAM: 16 GB 以上
- ディスク領域: 200 GB 以上

ポーラーの要件

ネットワーク環境と製品展開に応じて、WhatsUp Gold は 1 台の WhatsUp Gold サーバーと追加のポーラーによって、メトリックを最大で 100,000 までポーリングできます。WhatsUp Gold システムにポーラーを追加でインストールすると、アクティブモニタデータとパフォーマンスモニタデータを WhatsUp Gold サーバーに転送できます。ポーリングアクティビティを複数のポーラー間に拡張すると、WhatsUp Gold がポーリングし、データを収集して WhatsUp Gold システムに送り返すことのできるデバイスの数が増えます。ポーラーを追加することで、WhatsUp Gold はポーリングをより多くのネットワークデバイスに効率的に拡大し、結果としてより大きなネットワークを監視および管理する能力を提供できるようになります。追加のポーラーは、WhatsUp Gold サーバー以外のネットワーク上のどの Windows システムにもインストールできます。

	各追加ボラーの最小要件
プロセッサ	クアッドコア
RAM	4 GB
ハードドライブのアプリケーション用空き領域	2 GB
OS の要件	上記の「オペレーティングシステム要件」のセクションを参照してください。

WhatsUp Gold のインストール

WhatsUp Gold の導入で適切な操作とセキュリティ保護を維持するには、次のことをお勧めします。

- WhatsUp Gold とすべてのコンポーネントを施錠されたサーバールームまたはキャビネットにインストールし、物理的なアクセスが信頼できる管理者に制限されるようにします。
- WhatsUp Gold ソフトウェアコンポーネントを専用サーバーにインストールします。これらのサーバーを他の目的に使用しないでください。

WhatsUp Gold の最近のバージョンは WhatsUp Gold v22.0.0 以降からの直接アップグレードインストールをサポートしています。古いバージョンの WhatsUp Gold を実行している場合は、最新バージョンの WhatsUp Gold をインストールする前に、まず v22.0.0 にアップグレードする必要があります。アップグレード後にユーザーインターフェイスに新しい Web アプリケーションページが表示されるように、ブラウザのキャッシュを必ずクリアしてください。アップグレードを行う前に、必ずデータベースをバックアップしてください。WhatsUp Gold に含まれる SQL Express データベースを使用している場合は、アップグレードに進む前にインストーラ/アップデータでバックアップ作業を行うことができます。インストール、アップグレード、修復、およびアンインストールの詳細については、『[WhatsUp Gold のインストール](#)』ガイドを参照してください。

重要: WhatsUp Gold カスタムデータベース変更のアップグレードはサポートされていません。WhatsUp Gold インストーラは、WhatsUp Gold データベーススキーマに対するデータベースの変更を検出した場合、警告を表示してインストールを継続します。将来の WhatsUp Gold リリースでは、インストーラの警告に対処するまでインストーラが先に進まないようになる予定です。

オフラインでのインストールとアクティベーション

重要: インターネットに接続しているマシンでアカウントからパッケージをダウンロードし、目的のサーバーでインストーラを実行します。アクティベーション番号の入力を求められたら、[オフラインアクティベーションモードを使用] を選択してアクティベーションプロセスを続行します。評価者ライセンスをお使いでアカウントへのアクセス権がない場合は、[カスタマーサービス](#)までお問い合わせください。

注: IPv6 のみの環境では、オフラインアクティベーションを使用する必要があります。

製品ライフサイクルに関する情報

現在サポートされているバージョンについては、「[WhatsUp Gold ライフサイクル](#)」ページを参照してください。

著作権表示

Progress Software Corporation の現在の製品ドキュメントの著作権表示/商標説明を確認するには、次のページにアクセスしてください: <https://www.progress.com/legal/documentation-copyright>。